学校番号	T3036

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	世界史探究　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次の歴史総合で培った資質・能力をもとに、古代から現代までの世界史を学びます。歴史の流れをつかみ、歴史総合で得た知識・技能を活用して、自らが問いを立て、それをより深めていってもらいます。過去から現在への変化を知ることで、現在の世界がどのようにしてできあがってきたのか、世界の各地域の発展を比較検討し、地球規模でのつながりができた背景を、考えていってもらいたいです。グローバル化が進む中で、私たちが現在生きる国や世界の歴史の在り方について、基本的な知識を習得、理解し、他国や異なる文化を理解、尊重する姿勢を育成します。

2　学習の到達目標

・世界の歴史の大きな枠組みと諸事象について、地理的条件や日本の歴史と結びつけながら理解し、資料などを活用し世界の歴史に関するさまざまな情報を調べ、まとめる技能を見つける。
・世界の歴史の大きな枠組みや展開に関わる諸事象について、その意味や意義について考察、構想したことを説明、表現できる力を養う。
・歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に構想したりすることができる。考察、構想したことを効果的に説明することができる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、意欲的に探究する態度を培い、よりよい社会の実現に向けて主体的に課題に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	世界史へのまなざし	・人類の誕生、進化がどのようにして起こったのかを考古学、文化人類学の観点から理解する。 ・通信という生活に密接にかかわる事象から世界の歴史について多面的・多角的に考察する。 ・衣食住、家族、教育、余暇など日常生活に関する世界の歴史について考察する。	a:人類の誕生や進化について、具体的な年代とからめて理解している。 b:あるテーマとそれに関する世界の歴史について様々な諸資料から情報を得て、まとめ、自分で説明することができる。 c:身近なテーマとそれに関する世界の歴史とのかかわりについて主体的に探究しようとしている。	考査 小テスト	考査 ワークシート	ワークシート レポート
	古代文明	1.農耕と牧畜のはじまり 2.オリエント文明 3.インダス文明 4.中国文明	a: 古代文明の特質や宗教の発展を理解している。 b: 資料から文化の伝播を考察し、自分で説明することができる。 c: 文明の盛衰や周辺諸国との関係、国家の創出について学んだことを活かし、国際関係の変化を課題に主体的に探究しようとしている。	考査 小テスト	考査 ワークシート	パフォーマンス課題
	東アジアと中央ユーラシア	1.春秋・戦国時代の変動 2.中国古代帝国と東アジア 3.中央ユーラシアの国家形成 4.胡漢融合帝国の誕生	a: 中国の初期王朝と、のちの中華帝国の原型となった秦漢時代に関する基本的な知識・技能を身につけている。 b:中国王朝の統治体制や社会・文化の特色、近隣諸国との関係、遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係を多面的・多角的に考察、表現している。 c:遊牧民と農耕民および遊牧国家と農耕国家の関わりについて、交易の拡大や都市の発達、国家体制の変化と関連付けて主体的に探究しようとしている。	考査 小テスト	考査 ワークシート	パフォーマンス課題

	南アジアと東南アジア	1.インド古典文化の形成 2.古代の東南アジアと海のシルクロード	a：バラモン教・仏教・ヒンドゥー教の特徴を把握し基本的な知識・技能を身に付けている。 b：マウリヤ朝・クシャーナ朝の発展と宗教とのつながりや東南アジアと周辺地域との関係を交易関係などから多面的・多角的に考察し、表現している。 c：古代東南アジアの国家形成を、インド洋・南シナ海を通じた交易活動と関連付けて主体的に探究しようとしている。	考査 小テスト	考査 ワークシート	パフォーマンス課題
	西アジアと地中海周辺	1.オリエントの統一 2.ギリシア文明 3.ヘレニズム文明 4.ローマ帝国 5.西アジアの国々と諸宗教	a：ギリシア文明の基盤となったポリス世界の特色、およびヘレニズム帝国の統治と文化について基本的な知識・技能を身に付けている。 b：帝国化が「ローマ化」をさすということに着目し、帝国の形成の背景にある様々な諸事象について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：ローマ世界の発展と文化の特色やキリスト教の誕生から発展の意義について、現代社会と比較しながら主体的に探究しようとしている。	考査 小テスト	考査 ワークシート	パフォーマンス課題
	西アジア・地中海周辺の変動とヨーロッパの形成	1.ビザンツ帝国とギリシア正教圏 2.ラテン＝カトリック圏の形成と展開 3.イスラーム圏の成立	a：アラブ人の征服活動やアッバース朝の国家体制、イスラーム世界の諸地域における発展に関する基本的な知識・技能を身に付けている。 b：ウマイヤ朝とアッバース朝の差異やイスラーム世界の拡大、ヨーロッパの中世を特徴付ける荘園制と封建社会の形成との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：ムスリム商人が築いた海域・内陸のネットワーク、イスラーム文化の内容と、他地域への影響について、主体的に探究しようとしている。	考査 小テスト	考査 ワークシート	パフォーマンス課題

前期	イスラーム圏の拡大とヨーロッパ社会の変容	1.イスラーム圏の多極化と展開 2.ラテン＝カトリック圏の拡大 3.ラテン＝カトリック圏の動揺と秩序の変容	a: トルコ系民族を中心に発展したイスラーム世界の諸地域に関する基本的な知識・技能を身に付けている。 b:イスラーム世界の東方への拡大、西方におけるスルタン制・イクター制といった変容を内陸アジアやヨーロッパの動きと関連付けて多面的・多角的に考察、表現している。 c:十字運動を通したキリスト教圏とイスラーム圏の衝突・交流について現代の宗教関係に関連付けて主体的に探究しようとしている。	考査 小テスト	考査 ワーク シート	パフォーマンス課題
	中央ユーラシアと諸地域の交流・再編	1.中央ユーラシア諸民族と東アジアの変容 2.モンゴル帝国の成立 3.東南アジア諸国の再編 4.海域世界の展開と大交易圏の成立	a: ギリシアやユーラシア各地からの要素を融合したイスラーム文化がそれらを発展させ，さらに各地に伝わり影響を与えたことモンゴル人が築き上げたネットワークと、14 世紀以降の再編・解体がもたらした諸地域への影響に関して、基本的な知識を身につけている。 b:社会経済史の観点から、モンゴル帝国が内陸アジアの諸都市を、また元朝が海域ネットワークをも支配下においた意味を多面的・多角的に考察、表現している。 c: 宋と中央ユーラシア諸民族、モンゴル帝国の拡大と周辺諸地域の動向など、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関して主体的に探究しようとしている。	考査 小テスト	考査 ワーク シート	パフォーマンス課題

	大交易時代	1.明と東アジア 2.ヨーロッパの海外進出 3.大交易時代の海域アジア	a：明朝の成立・発展と朝貢世界の形成、スペイン・ポルトガルの動向および、諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出に関する基本的な知識・技能を身に付けている。 b：ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察、表現している。 c：ポルトガルとスペイン，オランダが海域アジアに築いた拠点の特徴と、そこに築かれた理由について主体的に探究しようとしている。	考査 小テスト	考査 ワーク シート	パフォーマンス課題
	アジア諸地域の帝国	1.中央ユーラシアと西アジアの帝国 2.南アジアの帝国 3.東南アジア諸国の発展 4.清と東アジア	a：西アジアや南アジアの諸帝国，清と日本・朝鮮などの動向を基に、アジア諸地域の特質を構造的に理解し、基本的な知識・技能を身に付けている。 b：清朝と隣接諸地域との関係の変化を、東南アジアの状況やヨーロッパ勢力の活動と関連付けて、多面的・多角的に考察、表現している。 c:清朝の中国統治の特色と，チベット・琉球・日本・朝鮮といった隣接諸地域の動向について主体的に探究しようとしている。	考査 小テスト	考査 ワーク シート	パフォーマンス課題
	近世ヨーロッパの形成と展開	1.ルネサンスと宗教改革 2.主権国家体制の成立 3.激化する覇権競争 4.近世ヨーロッパの社会と文化	a：宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大に関する基本的な知識・技能を身に付けている。 b：宗教改革の意義、大西洋両岸諸地域の経済的連関の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連、ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察、表現しようとしている。 c：主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大について、よりよい社会の実現を視野に	考査 小テスト	考査 ワーク シート	パフォーマンス課題

			課題ついて主体的に探究しようとしている。			
後期	産業革命と大西洋革命	1.イギリス産業革命 2.南北アメリカの革命 3.フランス革命とナポレオン帝政	a:欧米の市民革命の流れを理解している。 b:産業革命の波及が世界各地にどのような影響を与えたのかを説明している。 c:産業革命や市民革命によって世界各国の支配体制がこれまでとどのように変化したのかを考えようとしている。	考査 小テスト	考査 ワークシート	パフォーマンス課題
	近代ヨーロッパ・アメリカの国民国家	1.ウィーン体制と1848年の革命 2.19世紀後半のヨーロッパとアメリカ 3.19世紀のヨーロッパ・アメリカの社会と文化	a: 自由主義とナショナリズムをもとに、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解している。 b:諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，自由主義とナショナリズムの特徴について多面的・多角的に考察し，表現している。 c:ナショナリズムの高揚について、諸資料を活用して，文学・芸術作品に表れたナショナリズムを読み取ったり，それらが同時代でどのように受け止められたかを主体的に探究しようとしている。	考査 小テスト	考査 ワークシート	パフォーマンス課題
	地球をおおう帝国主義と世界諸地域の抵抗	1.ヨーロッパの帝国主義 2.アメリカの帝国主義 3.西アジアの改革運動 4.アフリカの分割と抵抗 5.インドの植民地化と民族運動 6.東南アジアの植民地化と民族運動 7.東アジアの国際関係の再編	a: 第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争，アジア諸国の変革などを基に，世界分割の進展とナショナリズムの高まりについて理解している。 b: 列強の対外進出とアジア・アフリカの動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響について、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，世界経済の構造的な変化，列強の帝国主義政策の共通点や相違点などを多面的・多角的に考察している。 c:自国の政治や社会に列強の帝国主義がどのような影響を及ぼしたのかを主体的に探究しようと	考査 小テスト	考査 ワークシート	パフォーマンス課題

			している。			
後期	第一次世界大戦と諸地域の変容	1.第一次世界大戦 2.ヴェルサイユ体制と国際協調 3.アジアのナショナリズムの台頭	a：第一次世界大戦とロシア革命，ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成，アメリカ合衆国の台頭，アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどを基に，第一次世界大戦の展開と諸地域の変容について理解している。 b：帝国主義の流れの中で、事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し第一次世界大戦後の国際協調主義の性格，アメリカ合衆国の台頭の要因，アジア・アフリカのナショナリズムの性格について多面的・多角的に考察している。 c：総力戦やアジアにおけるナショナリズムの高揚をもとに、その後の世界の変化を予想し、ヨーロッパ中心の世界体制の変容について主体的に探究しようとしている。	考査 小テスト	考査 ワーク シート	パフォーマンス課題
	第二次世界大戦と戦後の国際秩序	1.世界恐慌とファシズム 2.満洲事変と日中戦争 3.第二次世界大戦 4.戦後の変革と冷戦の始まり	a：世界恐慌とファシズムの動向，ヴェルサイユ・ワシントン体制の動揺などを基に，国際関係の緊張と対立について理解している。 b：世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点、，第二次世界大戦中の連合国による戦後構想と大戦後の国際秩序との関連，アジア諸国の独立の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察している。 c：自由主義経済の危機から資本主義諸国での国家による経済への関与が世界大戦にどのように起因し、戦後の国際体制はどのようなものであるべきかについて主体的に探究しようとしている。	考査 小テスト	考査 ワーク シート	パフォーマンス課題

後期	冷戦と現代世界	1.冷戦下の安全保障体制 2.脱植民地化と非同盟 3.冷戦の終結と現代世界	a:集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，冷戦の終結と地域紛争の頻発から紛争解決の取組と課題について理解している。 b:国際連盟と国際連合との共通点と相違点，冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点について多面的・多角的に考察している、 c:平和で民主的な世界を目指すために必要なことがらについて主体的に探究しようとしている。	考査 小テスト	考査 ワーク シート	パフォーマンス課題
	世界経済の展開	1. 冷戦と経済統合 2.第三世界の経済 3.産業構造と社会の変化 4.グローバル化と新自由主義の時代	a: 先進国の経済成長と南北問題、産業構造の転換をもとに、格差是正の取組と課題について理解している。 b:先進国による経済援助や経済の成長が見られた地域の特徴，諸地域間の経済格差や各国内の経済格差の特徴，経済格差と政治や社会の変化との関連性について多面的・多角的に考察している。 c:経済格差の是正のために国家や私たちができることについて主体的に探究しようとしている。	考査 小テスト	考査 ワーク シート	パフォーマンス課題
	科学技術の時代と知識基盤社会	1.地球環境の未来 2.バイオ･生命科学と私たちの生 3.ICTの発達と情報社会 4.知識基盤社会の形成 5.科学技術と平和	a: 原子力の利用や宇宙探査などの科学技術，医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理，人工知能，情報通信技術の発達による知識基盤社会の展開と課題について理解している。 b: 現代の科学技術や文化の歴史的な特色，第二次世界大戦後の科学技術の高度化と政治･経済･社会の変化との関連性について多面的・多角的に考察している。 c: 持続可能な社会の実現に向け，科学技術における知識の在り方について主体的に探究しよ	考査 小テスト	考査 ワーク シート	パフォーマンス課題

			うとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度